

メータオ・クリニック支援の会（JAM） 会報メール 第132号

[2022年6月発行]

NPO法人メータオ・クリニック支援の会（JAM）支援者の皆様

いつもご支援いただき、誠にありがとうございます。
JAMより、2022年6月号の会報をお送りします。

JAMは2008年3月に発足されたNGOです。ビルマ／ミャンマーからタイへ貧困や戦火を逃れてきた人々の病院、メータオ・クリニックの活動を支援する目的で設立されました。
支援者の皆様へJAMの最新の活動を2カ月に一度、会報メールにて発信いたします。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

<目次>

[総会と活動報告会開催のお知らせ](#)

[現地（メソト）から](#)

[国内から](#)

[編集後記](#)

[次号の予定](#)



総会と活動報告会開催のお知らせ

平素よりNPO法人メータオ・クリニック支援の会（JAM）をご支援くださり、誠にありがとうございます。

令和3年はミャンマーの軍部によるクーデターのため、JAMも活動にアクセルを入れ続けた1年となりました。

賛助会員の皆様に加えて各労組様のご支援により、メータオ・クリニックを通じて国内避難民への人道支援を行うことができました。

さらに令和4年は外務省の「日本NGO連携無償資金協力」のサポートを得て、メータオ・クリニックを中心として国境地域の新型コロナ対策とポストコロナを睨んだ保健活動強化を推進しております。

標題の件につきまして、下記の日程にて年次総会と活動報告会を開催させていただきます。すでに会場での集会も可能になってきておりますが、より多くの皆様に参加いただきたいこと、現地スタッフを来日させるよりも現地での活動を継続させることが急務であることからウェブ会議システム（Zoom）での開催となります。予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

開催日 : 令和4年6月26日（日）
開催時間 : 年次総会 15:30～15:50
活動報告会 16:00～17:00

活動報告会内容 :

- ・メータオ・クリニック院長 シンシア医師からの挨拶
- ・メータオ・クリニック地域保健責任者 ターウィン氏からの国境地域の現状報告
- ・JAM現地派遣員 有高医師からの報告
- ・JAM代表理事 小林医師から現在までの支援と今後の支援方針

参加ご希望の方は、6月25日（土）までにメール（contact0626@japanmaetao.org）にてご連絡をお願いいたします。Zoomのアクセス情報をお送りします。

なお、総会につきましては賛助会員に限り参加可能です。

一般や報道関係者の方は活動報告会への参加のみとなります。ご希望の方は、御氏名、御所属を明記のうえ、活動報告会への参加希望とご連絡ください。

その他、ご質問等がありましたら、メールにてお問い合わせください。

連絡先 : contact0626@japanmaetao.org



現地（メソト）から

【メソト：東山 諒子】

現地派遣員としてメータオ・クリニックに赴任し、3か月が経ちました。

日本でも世界的にもまだまだコロナ禍と言われている昨年より渡航準備を始め、ついに迎えた渡航当日でさえも本当に無事日本を出られるのか、タイに入国できるのだろうか、と不安と緊張で過ごした空港での時間が、遥か昔に感じます。

ちょうど私がタイバンコクに入国した時期、タイ政府より規制緩和の発表があり、当初予定していた入国5日目のホテル隔離及びPCR検査がなくなりました。メソトに向かう飛行機も満員で、確実に人の動きが出てきた兆しを感じたことを覚えています。

今から振り返ると、コロナ渦のなかメソトの地にたどり着けたのは、多くの方のサポートがあったからこそだと改めて実感している今日この頃です。

今回は活動報告とともに、この3か月間でのメソトの地での様々な出会いについてご紹介したいと思います。

新型コロナウイルス感染症の現在と、戦闘により負傷した患者さん

6月7日の新型コロナウイルス感染症の新規陽性者数はビルマでは5人、タイ全体では2224人、メソトでは0人。現在メータオ・クリニックでもコロナ罹患後の治療で入院している患者さんはいません。陽性者のための病棟と化していた託児所スペースも、今は元気な子どもたちの声が聞こえています。随分と新型コロナウイルス感染症に対する緊張感も下がっている印象を受けます。

新型コロナウイルス感染症による患者さんがいない中、クリニック内には腕や肢を切断した患者さんをよく見かけます。



先月、メーサリアンにある患者さんの一時治療施設の視察に行った際も、銃弾による四肢の裂傷や切断、両眼失明、脊髄損傷を患った方々にお会いしました。いずれも戦闘による負傷であり、約20人の患者さんのほとんどが10代、20代の若者でした。

私たちが今回視察した施設は2021年のクーデター直後に開設され、術後の創部の消毒などの処置、包帯交換、抗菌薬投与などをメータオ・クリニックやその関連団体のスタッフが行っています。しかし、十分な衛生的環境や設備が整っておらず、今回ガーゼや医療器具を滅菌する機械の導入など、関連団体と相談しながら進めているところです。

今回の視察ではメータオ・クリニックと協力してベッド、車椅子、松葉杖、医薬品、扇風機等の物資を輸送しました。その数トラック2台分。それらはすぐに使われるわけではなく、倉庫に一時保管しました。

しかし、これだけの物資が必要だということは、これから戦闘で多くの人々が命の危険に晒されるリスクがあるということ。できることなら、この物資は使われることなく倉庫にいてほしい、と願いながらメーサリアンを後にしました。



メソトでの日常 そしてタイビルマ友好橋は

メソトでの生活。普段の日常は一見穏やかです。

しかし、「ビルマ側に住む親族と連絡がとれない」「大切な人が戦闘により命を落とした」「数か月前にメソトに来た」などメソトで出会った方々よりお話を伺います。そのたびに今私は日本ではなくメソトにいて、そして今もビルマ側では命が失われている、という事実を自覚することになります。

また、私も1か月半ほど前、とてつもなく大きな爆発音を聞きました。数日後、それはタイビルマ友好橋のビルマ側のゲートでの爆発であったことを知ります。死傷者が出たという情報もあり、覚悟をしていたはずですが、やはり心が重くなる衝撃的な体験でした。



新型コロナウイルス感染症が流行し始めた2年前より、タイビルマ友好橋は閉鎖され、今もゲートは閉じられています。橋の近くにあるモエイマーケットやその周辺もかつての賑わいはありません。モエイ川の船の往来はあるとの情報もありますが、実際は不明です。

対岸にあるビルマ側のレストランやアパート、ホテルには洗濯物を干す人の姿などが見受けられます。爆発があったとは思えないほどの静けさが、逆に居心地悪く感じました。



分かり合えるとは

最後に、メソトに来て最初に出会った出来事についてご紹介させていただきます。

メータオ・クリニックのスタッフの多くはカレン族（ビルマの少数民族）です*。

同じカレン族でもルーツがタイかビルマかで「ビルマカレン」「タイカレン」と属性は変わり、またタイカレンはタイ国籍をもっています。ルーツにより受けられる社会保障やシステム、教育が異なることを知ると、「ここはタイなんだな」と当たり前のことにふと気づかされます。

（※メータオ・クリニックに訪れる患者さんはビルマ族も多く、共通言語としてはビルマ語になっています。カレン族はカレン語、ビルマ語ともに話すことができます。）



「カレンが好き」
「ビルマ族ではなくカレン族だから分かり合える」
これまで出会った人より聞いた言葉です。

またこのような言葉も聞きました。
「カレンだけどタイ側で生まれたから Happy だった」

ビルマ側か、タイ側か。カレン族かビルマ族か。

生まれた境遇や人生の過程は事実であって、他人がジャッジできることではない。
しかし、誰しも自身のルーツは、自身にとっての生活や人生において密接に関係している
ものです。彼らが感じている事実を「Happy か」「Happy でないか」。この問いにこの1年で私
は答えを出すことはできるのだろうか、と考えずにはられません。



メータオ・クリニック周辺には生活雑貨やお菓子などが買える商店や食堂があります。それらの一角に隣接している食堂とカフェがあります。

食堂（写真左）はビルマ料理。カフェ（写真右）の店主はタイ人。

一歩足を踏み入れると、雰囲気も言葉も異なります。ビルマの店で食事をとったあとは「チエーズティン（ありがとう）」と挨拶し、そのあとタイのカフェに行くと「サワディカップ（こんにちは）」と挨拶をする。もちろんお店同士の交流もあります。



↑食堂の厨房。人ひとりしか入るスペースはなく、物の配置にアイデアや工夫が詰まっている。



↑ビルマ料理の食堂からみたタイのカフェ。すぐに声かけられる距離にある。

タイ、カレン、ビルマ。多様な人たちが共生しながら生活しているメソト。「多様」には繊細で、複雑な背景が含まれているのも事実です。理解したいと思うこと自体がおこがましいのかもしれませんが、私がメソトで触れている、人と人が交わり合う文化は大変興味深く、

美しいとすら感じているのも事実です。それは、そこに紛れもなく Happy な時間が流れているからです。

国内から

【日本事務局：関根 史】

いつもご支援いただきありがとうございます。

私は、埼玉県越谷市において社会福祉法人天恵園の理事長をしています。天恵園では8年目となりますが、この障害の仕事に就いてからは18年目を迎えようとしています。正直私自身、これほど長く続くとは思いませんでした。

私が関わっている仕事には、障害のある方の外出支援や入浴介助をする部門と未就学児を対象とした発達障害・医療的ケア・企業主導型保育園の3つの事業の部門があります。

外出支援には、葛西臨海公園や東武動物公園に遊びに行ったり、電車が好きな方にはホームと一緒に電車を見たり、私は重度の知的障害のある方との外出支援で嘔みつき、奇声などあげるいわゆる強度行動障害がある方で、毎回の外出のたびにジャンパーの上から噛まれたり、髪を引っ張られたり、『もぉーっ！』と思うこと幾度となく・・・

でも、喜びを『きいっ！』と声に出してジャンプしたり抱きついてきたりすると【かわいいなー】と癒され、重度の障害を持っている方の支援には言葉にすることが難しくわかってもらいたい一心で、イライラやもやもやをぶつけてきているのだと分かり、私はこのとき大きく成長させてもらいました。

未就学児を対象にしている施設を創っているのには、外出支援に関わった方々を見てきて未就学児時期の身体形成・感情形成などとても大事であると感じ、社会的ルールやコミュニケーションの取り方、すいか割りや七夕など季節折々の行事などに関わらせていくことをしています。最初はビーズのひも通しをできなくても日々の積み重ねでできるようになり、本人に自信がついていくことで他にもどんどんできることも増えていき楽しさを身につけています。

どの子どももそうですが、子どもは物事や会話などをすぐに理解できるわけではないです。何度も同じ説明や動作を繰り返し教えていくことが必要であり、忍耐強さと粘り強さをここで学ばせてもらっています。お陰で気が長くなったような気はします。

話は変わり、私は料理を作るのが大好きで、作ることがストレス発散にもなっています。3年前からパンを作り始め、総菜パンやカンパーニュ、コッペパンなどいろんな種類のパン作りに挑戦していますが、食パンは難しい・・・

その日の温度や湿度やこね加減で作るたびに違ったできあがりになり、ふわふわではない重い食パンになって失敗しても次こそは！と前向きに毎回挑戦に挑んでいく。

いいものを作ろうとするものの裏には、都度調整をしていくことがあると思います。

私自身も、毎日同じ日々を過ごしているわけではなく、良い日もあれば、そうでない日もある。

『まあ、そんなこともあるさ』

『次、行くぞー！』

常に前向きにいくこと、進むことが大事だなと思います。

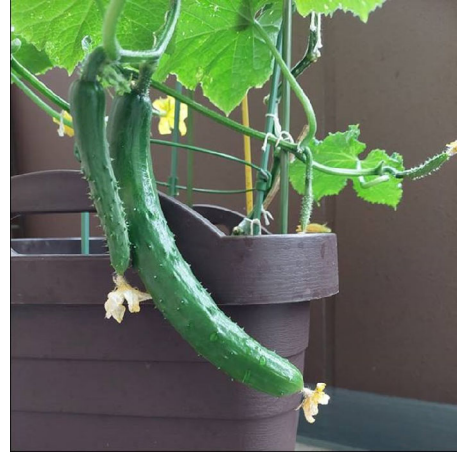


編集後記

ひとりでせつせとベランダできゅうりの世話をしています。

きっかけは、たまたま、普段食べ物を買っているスーパーのお花売場でド素人の私が見てもどうにも強そうに見える接ぎ木苗に出会ったから。

でも、花も実もたくさんつくのに、なかなか小指サイズから大きくなならないまま、すでに数本、枯れてしまいました。「プランターだとやっぱり難しいのかなあ」と思っていたら、今日、ようやく、お店で売っているようなくらい立派な大きさになりました。食べるのが惜しいくらいうれしいです。これから「今日もおかず、きゅうりなの？」と家族に言われるくらいたくさん収穫できますように☆



次号の予定

次号は、8月下旬ごろ配信の予定です。

最新情報は、インスタ、ツイッター、ホームページでも、随時更新してまいりますのでぜひ、お時間があるときにご覧ください。

メータオ・クリニック支援の会(JAM)の活動を支援して下さり、心より御礼を申し上げます。JAMの活動は皆さまからの温かい寄付によって支えられ、院内感染予防活動、移民学校での啓発活動など様々なプロジェクト・設備投資を実施しています。支援の輪が広がっていけるよう、どうぞ当会のFacebookもフォローして「いいね」や「リツイート」で応援してください。

当会では、都度の支援金の受け入れとともに、「1日10円からの支援」を基本とし、継続的なご支援をお願いする賛助会員制度を用意しております。

【一般会員】3,650円/年 【学生会員】1,825円/年 【法人会員】36,500円/年
当会ホームページにアクセスしていただき、お申し込みフォームから会員登録のうえ、指定の口座へのお振込をしていただきますと、賛助会員として登録させていただきます。詳しくは当会ホームページをご覧ください。



NPO法人メータオ・クリニック支援の会
Japan Association for Mae Tao Clinic (JAM)

| | |
|-----------------|-------------------------|
| 日本事務局宛て Eメール | support@japanmaetao.org |
|-----------------|-------------------------|



| | |
|------------|---|
| JAM ウェブサイト | www.japanmaetao.org |
| Facebook | Japan Association for Mae Tao Clinic (JAM) で検索して下さい。 https://www.facebook.com/JapanAssociationforMaeTaoClinic/ |
| Instagram | https://www.instagram.com/japan_association_maetaoclinic/ |
| Twitter | https://twitter.com/japanmaetao |

※掲載されている全ての内容、文章の無断転載を禁止します。

